

卸・小売業における主な労働災害の型と災害事例

転倒災害

事例 1

食材のパック詰め作業をしていたところ、後方に這わせてあった電気の延長コードに足が引っかかり転倒してしまう。(休業45日)

事例 2

カートを移動させていたところ、床に敷いてあったマットがまくれていたため、足がからみ転倒してしまう。(休業60日)

事例 3

雨の影響で店内の床が湿っていたので、清掃しようとしたところ、足を滑らせ転倒してしまう。(休業30日)

事例 4

厨房で作業をしていたところ排水溝の金属製の蓋の上で足を滑らせ転倒してしまう。(休業90日)

切れ・こすれ災害

事例 1

厨房で、キャベツの芯を切り取ろうとしていたところ、勢いが余りキャベツを支えていた指を切ってしまう。(休業10日)

事例 2

厨房で、使用後の包丁を水洗いしていたところ、手が滑り指を切ってしまう。(休業13日)

事例 3

スライサーでパンを切っていたところ、回転刃でパンを押さえていた指を切ってしまう。(休業10日)

事例 4

ミンチ製造器を使用中、肉を手で押し込んでいたところ、手をミンチ製造器の中に入れすぎたため指を切ってしまう。(休業40日)

はさまれ・巻き込まれ災害

事例 1

販売用の平台を2台一緒に動かしていたところ、勢いがついてしまい平台間で指を挟んでしまう。(休業30日)

事例 2

商品を配達するためライトバンに積んでいたところ、落とそうとしたので支えようとして、指を挟んでしまう。(休業60日)

事例 3

ローラーコンベアで商品の荷受け中、荷をローラーコンベアから取り込もうとしていたところ手袋がローラーに絡まり指が巻き込まれてしまう。(休業20日)

墜落・転落災害

事例 1

脚立に乗り商品の品出し作業中、商品を持って脚立を降りようとして足を滑らせ後方に転落してしまう。(休業40日)

事例 2

脚立に乗り商品の棚卸作業中、脚立から降りようとして足を滑らせ後方に転落してしまう。(休業20日)

事例 3

椅子に乗って棚の上の商品を取ろうとして無理な体制となり、バランスを崩し転落してしまう。(休業60日)

動作の反動・無理な動作による災害

事例 1

フライヤーの油を取替えようとして、油の入った一斗缶を持ち上げたところ、腰に痛みがはしる。(休業10日)

事例 2

商品の受け入れを行なっている際、一番上にある商品を降ろそうとして重くて取り落としそうになったため胸で受け止めて肋骨を折ってしまう。(休業10日)

事例 3

商品を出荷するため車両に積み込もうとして商品を持ち上げたところ、バランスを崩しそうになり足を踏ん張ったため肉離れを起してしまう。(休業10日)

その他の災害

事例 1

厨房で揚げ物をしているところ、油が跳ねて火傷をしてしまう。(休業20日)

事例 2

脚立を使い販売促進用のチラシを取付けた後、脚立から降りようとしてバランスを崩したため飛び降りたところ、足を骨折してしまう。(休業90日)

事例 3

商品保管庫内で、商品を手に取り台車に載せようと振り返ったところ、荷の重みで勢いがついており、手の甲を台車にぶつけてしまう。(休業30日)

平成18年4月1日労働安全衛生法の改正に伴い、その職場における危険性・有害性を調査し、その結果に基づき、リスクの除去・低減対策を講じるように努めなければならなくなりました。

ここでは、過去5年間に県内の卸・小売業において発生した労働災害の一部を紹介しておりますが、これらの事例を参考にいただき、事業場内における有害性・危険性を調査し、その対策を図っていただきますようお願いいたします。